

守谷市放課後子ども総合プラン運営業務
公募型プロポーザル審査評価基準

令和6年7月

守谷市

守谷市放課後子ども総合プラン運営業務公募型プロポーザル審査 評価基準表

No.	審査項目	評価の視点	評価・配点										
1	業務実績	<p>過去の運営又は類似事業の実績（規模や経験年数等）から、経験豊富な事業者と判断できるか。また、本市の放課後子ども総合プランにおいて、その経験を生かすことが期待できるか。</p> <p><配点></p> <table> <tr> <td>秀</td> <td>優</td> <td>良</td> <td>可</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>37.5</td> <td>25</td> <td>12.5</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>※ 0点の場合は失格。</p>	秀	優	良	可	不可	50	37.5	25	12.5	0	50点
秀	優	良	可	不可									
50	37.5	25	12.5	0									
2	経営状況	<p>財務状況が健全で長期的かつ安定的な経営が可能か。</p> <p><配点></p> <table> <tr> <td>秀</td> <td>優</td> <td>良</td> <td>可</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>37.5</td> <td>25</td> <td>12.5</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>※ 0点の場合は失格。</p>	秀	優	良	可	不可	50	37.5	25	12.5	0	50点
秀	優	良	可	不可									
50	37.5	25	12.5	0									
合計			100点										

守谷市放課後子ども総合プラン運営業務プロポーザル審査 評価基準表

A：高い水準で満たし、かつ特筆すべき点がある。

B：高い水準で満たしている。

C：満たしている。

D：満たしていない。

E：著しく不適當。

No.	審査項目	評価の視点	評価・配点				
			A	B	C	D	E
1	運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の趣旨を理解し、明確かつ適切な基本理念を有しているか。 ・市が方針とする『待機児童ゼロ』を継続するための配慮事項、着眼点、課題解決方法、業務の進め方が示されているか。 ・児童の健やかな育ちに適切に関わるという意欲が感じられるか。 	10	7.5	5	2.5	0
2	組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に記載している職員が適正に配置されるか。また、業務の指揮命令系統が事業者として確立されているか。 ・安定した放課後子ども総合プランの運営ができるよう、業務従事者の確保の仕組み（採用方法等）が構築されているか。 ・急な欠員の補充や加配が必要な場合に備え、業務従事者の配置を適正かつ柔軟に行う仕組み（欠員の補充方法等）が構築されているか。 ・放課後子ども教室における日々の参加者の把握とそれに応じることができる柔軟な業務従事者の配慮ができるか。 ・業務従事者の労働実態や意向を把握し、健康で意欲的に就業できる体制を整備しているか。 ・給与体系等が整備されているか。また、業務従事者の賃金の処遇改善案が過大・過少となっておらず持続可能な内容であるか。 ・職場内外での教育訓練や研修等機会を確保し、業務従事者が自発的、継続的に研修に参加できる計画が具体的に策定されているか又は体制が整えられているか。 ・個人情報について、適正な取扱方法及び具体的な管理方法が整備されており、情報管理が徹底されているか。 	40	30	20	10	0

3	要望・苦情への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者からの要望やニーズを把握するための取組みについての事例はあるか。 ・児童や保護者からの苦情等に対し、迅速かつ適切に誠意を持って対応し、業務従事者間で共有・解決できる体制が取れているか。また、その対応が個人の対応ではなく組織的なものか。 	20	15	10	5	0
4	安全対策 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や急病時の対応方法が定められているか。 ・災害時の対応方法が定められているか。 ・不審者に対する対応方法が定められているか。 ・感染症の予防策が定められているか。 ・アレルギーを持っている児童への対応方法が定められているか。 ・児童の安全で安心な居場所としての視点に立った適切な衛生管理、環境整備が行われるか。 	20	15	10	5	0
5	基本事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に合った細やかなプログラムが設定されており、児童にとって適切な遊びや生活の場の提供を期待できるか。 ・季節行事等の各種イベントやサービス内容が魅力的か。 ・地域の特色等を生かした活動や、児童が興味を持てる事業を企画できるか。 	40	30	20	10	0
6	多様なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業期間における昼食のあっせん、児童の入退室、出欠席連絡にICTを活用するなど、保護者に配慮したサービスを提案しているか。 	10	7.5	5	2.5	0
7	特別な支援を要する児童への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持つ児童や特別な支援が必要な児童についての知識を有し、児童が安心して利用できる環境が整備できるか。 ・児童虐待についての知識を有し、常に児童の見守りと発見時の迅速な対応ができる体制が取れるか。 	20	15	10	5	0
8	連携・協力体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、行政、地域との連携・協力体制の必要性について十分理解し、地域の実情に応じた運営をしていく姿勢が見受けられるか。 ・地域交流への取組又は地域団体・地域ボランティア等の活用が考えられているか。 	20	15	10	5	0
9	課題解決に向けた提案	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウや発想により実施可能な取組みであるか。 	10	7.5	5	2.5	0
10	提案に対する価格の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容に対して適切な見積りであるか。 	10	7.5	5	2.5	0
合計			200点				